

住まいまわりの地面をどう扱う？

パネル・ディスカッションの設題として
ファシリテーターを務めていただく西村佳哲さんから、
上記の言葉が寄せられました。



手前の桃の木の下までが敷地です。
埼玉県飯能市の事例より。
建物は、ゆたか建設の設計・施工による。

農ある生活への胎動

●セミナー企画者の立場から 文・小池一三

クルーズ船のダイヤモンドプリンセス号が横浜港に帰港したのは、2020年2月3日でした。あの日を起点に、新型コロナウイルスによる、日本のパンデミックが始まりました。このパンデミックの前と以降で、生活は大きく変化しました。「いつ普通の生活に戻れるのか」というものの、ベストやコレラやスペイン風邪など、過去のパンデミックがそうであったように、新しい時代を招来するのではないかと、言われています。

左の写真は、都市部から郊外に居住を求めた家族の建築中の建物です。敷地は農地を含め900㎡。土地の入手価格は宅地と野菜畑を合わせて1000万円。西武池袋線急行で飯能駅まで48分なので、どうしてそんなことが可能になったのか不思議に思う人がいるかと思いますが、これは例外的な事例ではなく、またトリックでもなく、これからの「田園住宅」を生み出そうという行政と地域工務店や設計者と、住まい手によって実現されました。このニュースにて、その中身を紹介していきます。その前に、最近の都市近郊の住宅用地について触れておきます。都市の外延化による最近の郊外住宅は、街なかの建売住宅がそのまま移転したようなものが多く、環境的には「地表面被覆の人工化」と「人工排熱の増加」が極まっています。

コンクリートの前面道路に沿って、2~3台の車が同じくコンクリート床の駐車場を占めて土の地面を覆い、雨が降ると、その水は大地に滲みることなく流れ出し、豪雨に襲われると排水が追いつかず道路に溢れ出します。

「人工排熱の増加」について見ると、夏の熱射はコンクリート面に蓄熱され、2℃室温を下げるために室内から5℃の温度を排熱し、郊外の家だというのに、窓を閉じて困う生活が増えています。この時流とされるあり方を見直し、そこから「土中の環境」へと考えを巡らせようと思います。さらにはまた、土地の制度や規制の問題、それから一軒の家の特化して設計してきた「注文住宅」の問題性などを、我々の仕事＝土地と建物のデザインの問題として、今回のセミナーの「まな板」に乗せることにしました。(次号に続く)

●パネラー紹介



田瀬理夫(たせみちお)
ランドスケープ・デザイナー ブランタゴ代表。アクロス福岡・ゆりが丘ヴィレッジなどの仕事で知られる。「ひとの居場所をつくるデザイン」は、日常性と社会性と地域性の3つが揃っていないとダメだという。信条は「地方は与論の本なり」。



「2021福岡美展」www.acros.or.jpより

計画用地の土は、 できる限り外に出さない。 外から土を持ち込まない。

残土の正式名称は、建設発生土といいます。建築工事及び土木工事などで建設副産物として発生する土ですが、残土は廃棄物処理法に規定される廃棄物には該当しません。しかしながら、産業廃棄物に該当するものが混入している場合は、それを取り除かなければ産業廃棄物に該当します。

今年7月3日に発生した熱海市伊豆山の土石流事故は、逢初川の上流、標高約390m地点で発生した崩壊事故で、残土処理のための盛土が起点と言われます。

残土の処理は、掘削土／根土を残土運搬車(ダンプカー)に積んで敷地外へ排出、処分することをいいますが、熱海の現場では、事故が起こるまでに、連日夥しいまでの残土がダンプカーによって運び込まれ、捨てられていたと住人が証言しています。土は、建築を進めるにあたっては難儀な存在ではありますが、田瀬は、残土を発生させない土地計画を立てれば、残土処理は少なくとも済むといいます。頭にそれがないと際限なくなるとも。

田瀬の仕事に、浜名湖畔に建てられた施設建築があります。田瀬はこの計画において、湖に流れ込む汚染水をきれいな水に変えることを思い立ちました。

浜名湖岸に池をつくり新しい水源にするんだ、といいました。けれども池を掘ると土が発生します。田瀬は、その土を用いて池を巡る小山をつくり、そこに苗木を植えて湖畔の森をつくりました。

田瀬の出世作とされる「アクロス福岡＝天空の庭」では、福岡一の繁華街・天神の土地に立って遠くの山を見やり、そこから野鳥が飛んできて、糞の中に混じった実生を落としてもらうことを思い立ちました。別名「天神岳」は、竣工時に75種の樹木が、今ではその3倍に増えています。野鳥の助けを借りながら計画的に補植を行い、自然に近い山の表情へと導いたのです。

田瀬理夫のランドスケープは、時間デザインを織り込むのが一貫したやり方ですが、今回は住宅地の話に絞ってお話いただきます。

2021秋の設計セミナー募集要項

【参加費】 1,000円/人(税込)

【お申し込み】

■ 右記QRコードより、お申し込みください。

■ 町の工務店ネットのWEBサイトからも、お申し込みいただけます。

<https://machi-no-komuten.net/>



<お問合せ>

一般社団法人 町の工務店ネット

〒432-8044 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1

TEL.053-570-9001 FAX.053-570-9007

info@machi-no-komuten.net

町の工務店ネット

検索